

9 同一地域における農事組合法人の円滑な経営継承に向けて

- 同一町内の農業法人（農事組合法人）との意見交換を通じ、経営継承における課題をくみ取り、担い手の確保と円滑な経営継承による地域農業の維持発展を目指す。

○ きっかけ

福井県においても、高齢化による後継者不足や担い手への農地集積が限界を迎え、存続自体も厳しい状況にある農業組織も多くなってきており、地域農業及び農地維持のためには、担い手の確保や経営継承が必要である。

このような中、永平寺町の農業法人から法人同士の意見交換会の開催要望があったこと、また、農業支援サービス事業体として、農地維持、雇用創出等に取り組みたいなどの意見があったことから、町やＪＡ、他の農業法人を集めた懇談会を開催した。



令和３年３月９日 永平寺町内での意見交換の様子

○ 取組の概要

永平寺町内の農事組合法人、国、県、町及び農業団体が一堂に会し、農業法人における経営継承や後継者育成のほか、地域農業が抱える課題の解決に向けて、それぞれの立場から意見交換を行い、担い手の確保と円滑な経営継承のための環境整備や支援措置に関する意見・要望を共有する場とした。

○ 懇談会での意見・要望など

- ・ 後継者育成や経営継承に向けて、基盤整備や収益を確保するためのブランド化等の取組が必要であり、関係者間での連携が重要である。
- ・ ブランド化を通じて販路を確立できれば、地域全体の所得向上にもつながり、農業の魅力を向上させることになるのではないかと。
- ・ 大型機械を各組織で所有するのは非効率であり、機械更新やリース導入に係る支援をお願いしたい。
- ・ 小さいほ場が多い中山間地域でも活用可能なスマート農業技術の開発や導入支援をお願いしたい。